

## 高校生セミナー 参加者からの質問への回答

◆薬剤師の仕事だけでもどのような職種があるのかなどが知りたいです。

よろしくお願いします。(高校1年生)

セミナーでも紹介させていただきましたが、薬局、病院、医薬品卸、行政以外にも製薬企業や大学教員など幅広い就職先が存在します。

◆病院、薬局の仕事の他にも県や市での仕事内容も知りたいです。

学生の頃の生活についても知りたいです。(高校2年生)

島根県内に限定しますと、行政勤務としては各保健所、保健環境科学研究所、薬務課等があります。学生の頃の生活については各自様々だと思います。セミナーでプレゼンしてくれた先生方もそれぞれ充実した学生生活を送っておられたようです。

◆大阪医科薬科大で、ストレートで卒業するのはどれくらい難しいですか？きちんと授業を受けていたら6年で卒業できますか？バイトする時間はありますか？

これから6年後には薬剤師の数が増えるとなると聞きましたが、私立大学卒では就職が難しくなったりすると思いますか？(保護者)

各大学の難易度等については回答が難しいのですが、6年間で卒業することは可能だと思います。確かに授業や実験等、幅広い学習が必要となりますし、簡単には進級、卒業と進むことはできないかもしれませんが、多くの学生さんがストレートで卒業できていると思います。バイトについてもやり方次第で可能ではないかと思えます。

薬剤師数が増えると何年も前から言われてきていますが、少なくとも島根県においては不足している状況は改善されていません。また、私立大卒が就職に不利であるといったこともないと思います。

◆薬剤師の将来性について(高校2年生)

現代医療において、医薬品を使用しない治療というものは考えにくいと思います。少なくとも調剤権(処方どおりに薬を調剤する権利)は薬剤師にしか認められていない専権行為です。人が薬を使用する場面で薬剤師がいないことは考えられません。また既存の医薬品のみならず、新たに開発されていく医薬品もあるでしょうから、開発の段階やその他、多くの場面で薬剤師が活躍できると思います。書ききれませんが、薬剤師の将来性を維持、向上させていくことも薬剤師、薬剤師会の使命だと考えております。一緒に頑張っていきましょう。

◆薬剤師になるメリットがあったら教えてください(高校2年生)

メリットは人それぞれだと思います。給与や待遇面が気になる方もおられるでしょうし、やりがいが一番を求める人もいるでしょう。薬剤師が不足している島根県にとっては、薬剤師が増えることがメリットかもしれませんね。

◆本人は大学進学・卒業後は地元の浜田市(益田、江津含む)で就職を考えています。業界の中でも事業所によって様々でしょうが、必要な学歴(学部)や資格、時間外労働や給与含む職場環境や待遇なども知りたいです。(保護者)

必要な学歴としては、薬学を専攻する学部の卒業が国家試験受験に必須要件となっており、現在は6年制の薬学部・薬科大学に進学・卒業する必要があります。薬剤師になるために必要な資格は特にありませんが年1回実施される薬剤師国家試験の合格が求められます。薬剤師になってからも更なる活躍のために進学したり専門薬剤師の資格を目指したりする薬剤師もいます。時間外労働、給与等の待遇については個々の企業、業種によっても様々です。セミナーの中で少しイメージが湧いてもらえると幸いです。

県西部は薬剤師不足が顕著なので、就職については困ることはないのではと思います。

◆奨学金全般の事を知りたいです。県や病院の奨学金の有無等。(保護者)

奨学金については島根県薬剤師会として斡旋するような特定の奨学金制度はありません。個々の企業、病院等で取り組みがあるような話を聞いたこともありますが、ここで紹介できるものではありません。今回のセミナーでは実際に奨学金を返済していくことを補助する制度についてご紹介しました。島根県内の登録機関で働きながら奨学金返還する場合に助成が受けられるものです。ぜひ参考になさってください。

また、大学によっては特待生制度のような授業料等の減免する取り組みを行っているところがあるようです。興味がある大学についてそれぞれ調べてみることをお勧めします。

◆薬剤師になるにあたり向き不向きがありますか？その場合、仕事に携わる中で大変なこと、これまで難しいと思われることで、そのような時に、向き不向きを感じれたことがありましたでしょうか？(高校1年生)

一言で薬剤師といっても多くの職域があって、いろんな場面で活躍することができることについてはセミナーの中でも少しはご紹介できたと思います。向き不向きについては職域によってはきっとあると思います。ただ、そこで思考を止めるのはもったいないと思います。

個人的な経験としては、相手(患者さんや顧客、他の医療職等)にもいろんな方がおられますのでコミュニケーションにはこれが正解だ！ってものがないことでしょうか。逆にご指名していただく方もいらっしゃいますし、自分に向いているのか、不向きなのかはいまだに答えがありません。

文責 山田島智治